

労働者健康福祉機構 平成24年度業務実績参考資料

◎個別病院ごとの診療機能等・・・・・・・・・・1

◎各労災病院の特徴と政策的役割・・・・・・・・・・5

独立行政法人 労働者健康福祉機構

個別病院ごとの診療機能等

	承認 病床数	主な指定・届出等の状況(平成25年3月1日現在)						
		DPC 対象 病院	一般病棟入院基本料(病床 数)		地域医療 支援病院	がん診療 連携拠点 病院	災害拠点 病院	アスベスト 疾患セン ター(◎ブロック センター)
			7対1	10対1				
道央せき	157			○				
道 央	312	○		○				◎
釧 路	500	○		○	○	○		○
青 森	474	○	○		○			
東 北	548	○	○		○	○	○	◎
秋 田	250			○				
福 島	406	○	○		○	○		
鹿 島	300	○	○				○	○
千 葉	400	○	○		○	○		○
東 京	400	○	○		○			○
関 東	610	○	○		○		○	○
横 浜	650	○	○		○	○	○	◎
燕	300	○		○	○			
新 潟	360	○	○		○	○		○
富 山	300	○		○		○		○
浜 松	312	○	○		○			○
中 部	621	○	○		○		○	○
旭	250	○		○				◎
大 阪	678	○	○		○	○		
関 西	642	○	○		○	○		○
神 戸	360	○	○					◎
和 歌 山	303	○	○		○		○	○
山 陰	383	○		○	○			○
岡 山	363	○	○		○			◎
中 国	410	○	○		○		○	○
山 口	313	○	○		○		○	○
香 川	394	○	○		○	○		○
愛 媛	306	○	○					○
九 州	450	○	○		○			○
門 司 セン	250	○		○	○			
長 崎	350	○	○		○			◎
熊 本	410	○	○		○	○	○	○
合 計	12,762	30	23	9	24	11	9	25

個院ごとの診療機能等

	平成24年度業務実績								
	平均在 院日数	紹介率 %	逆紹介 率 %	地域連 携パス	クリニカ ルパス 件数	クリニカ ルパス 適用率 %	患者満足度調査		
							入院総合 評価	外来総合 評価	入外平均 評価(%)
道央せき	17.6	9.1	14.7	1	29	98.8	89.2	69.7	73.6
道 央	18.6	32.7	25.8	0	84	95.7	89.2	90.6	90.2
釧 路	14.1	68.2	40.1	5	105	85.1	90.3	72.1	78.6
青 森	18.0	48.5	45.9	0	69	100.0	91.1	77.7	80.9
東 北	14.2	65.8	45.1	7	114	73.3	95.8	79.7	85.8
秋 田	19.4	20.6	12.3	0	52	100.0	90.0	80.0	83.1
福 島	17.0	83.3	68.8	5	63	91.4	90.6	73.2	80.8
鹿 島	16.8	32.9	78.0	0	48	100.0	95.5	59.1	69.0
千 葉	12.0	78.1	59.1	4	377	100.0	86.3	67.0	72.6
東 京	15.0	71.6	49.0	1	130	97.6	88.0	77.7	80.6
関 東	14.1	73.8	45.6	7	181	96.5	93.1	81.0	84.6
横 浜	11.4	66.6	36.5	9	246	100.0	90.9	79.1	83.2
燕	19.5	77.7	43.5	1	100	87.3	86.6	72.8	76.3
新 潟	15.3	50.8	38.2	6	167	99.6	93.6	75.1	81.2
富 山	16.2	59.3	30.0	7	95	98.8	88.8	80.0	82.2
浜 松	14.9	64.8	30.1	1	38	84.8	91.1	81.8	84.9
中 部	14.4	57.4	70.8	7	144	67.1	93.6	78.2	82.8
旭	14.3	42.9	25.1	1	59	100.0	89.4	72.7	76.7
大 阪	11.0	79.6	96.5	9	197	90.7	94.7	80.4	87.3
関 西	12.6	73.7	64.7	5	268	70.7	93.9	85.3	89.6
神 戸	17.6	55.9	74.7	0	58	82.4	91.6	80.8	85.2
和 歌 山	13.5	51.7	49.4	8	126	76.7	91.3	76.7	82.7
山 陰	15.8	55.1	60.9	6	137	59.5	92.0	74.5	79.2
岡 山	15.4	54.7	77.5	2	111	94.6	93.1	74.2	80.0
中 国	14.5	73.1	56.8	7	123	91.8	92.2	76.0	82.5
山 口	16.0	59.5	37.9	2	91	82.4	87.5	72.8	79.1
香 川	14.4	74.6	48.9	8	606	96.4	92.5	70.8	76.5
愛 媛	16.9	33.6	34.0	0	188	92.6	86.4	71.3	75.3
九 州	15.1	63.7	80.5	2	157	88.8	91.9	85.2	87.1
門 司セ	17.9	78.7	73.5	0	78	46.0	91.4	77.0	82.2
長 崎	16.1	68.0	60.4	4	32	100.0	93.2	78.6	83.7
熊 本	15.6	71.9	47.9	8	149	70.1	88.3	76.1	81.1
合 計	14.5	63.0	52.7	123	4,422	87.8	91.6	76.9	81.8

個別病院ごとの診療機能等

	平成24年度業務実績									
	救急患者数		労災患者 比率% (入院)	労災患者 比率% (外来)	労災疾病研究		労働局依頼の意見 書作成・鑑別診断件 数		アスベスト 健診件数	特殊健康 診断被検 者数
	患者総数	(再掲) 救急車搬送 患者数			主任研究 病院	分担・共同 研究病院	意見書作成	鑑別診断		
道央せき	214	150	11.1	8.7		○	99	0	0	119
道 央	3,307	1,158	12.5	11.3	○	○	111	11	32	1,512
釧 路	4,410	1,715	2.6	6.2		○	129	2	26	547
青 森	4,639	761	2.9	3.7		○	34	3	53	407
東 北	6,078	2,471	2.4	5.0	○	○	123	4	562	1,357
秋 田	1,512	439	2.9	3.6		○	14	0	0	152
福 島	5,301	2,124	2.0	3.5		○	26	0	13	303
鹿 島	2,271	822	4.7	2.8		○	51	0	20	261
千 葉	9,415	3,208	2.5	3.5		○	164	0	830	2,016
東 京	10,040	3,638	2.3	4.6	○	○	169		696	1,477
関 東	12,206	5,253	2.3	2.5	○	○	273	4	194	1,092
横 浜	21,799	6,133	1.5	4.7	○	○	147	0	360	915
燕	3,697	1,993	2.1	4.5	○		64	0	38	129
新 潟	6,338	1,989	3.1	3.3		○	95		154	295
富 山	4,759	1,222	3.8	6.2		○	40	2	23	713
浜 松	8,205	3,650	2.2	5.1		○	79	1	26	477
中 部	13,346	3,639	2.5	7.8	○	○	262	0	89	781
旭	10,191	2,032	3.6	6.4		○	120	0	88	2,065
大 阪	4,780	2,255	1.2	2.3	○	○	141	4	144	918
関 西	5,728	3,362	1.1	4.4	○	○	157	0	1,004	2,055
神 戸	3,387	1,441	1.6	2.4		○	94	0	26	402
和 歌 山	13,012	3,085	0.9	2.3	○	○	42	2	29	1,110
山 陰	8,618	2,689	1.4	3.2	○		22	0	70	202
岡 山	9,629	2,362	5.9	6.3	○	○	64	17	2,296	3,252
中 国	12,708	3,406	2.5	4.4		○	90	2	23	1,059
山 口	5,543	1,708	3.4	4.1		○	59	6	62	253
香 川	9,616	3,508	2.2	12.3	○		73	42	43	6,278
愛 媛	3,713	745	4.0	6.0	○	○	54	19	28	883
九 州	9,424	2,733	2.6	4.1	○	○	124	4	659	1,596
門 司セソ	3,507	843	2.1	1.8		○	26	0	204	231
長 崎	4,649	1,939	3.8	4.8		○	133	3	376	699
熊 本	11,719	3,481	2.0	3.6		○	66	2	11	670
合 計	233,761	75,954	2.8	4.8	15	29	3,145	128	8,179	34,226

個別病院ごとの診療機能等

	平成24年度業務実績				
	臨床研修				専門・ 認定 看護師数 (H25.4.1現在)
	指定条件		研修医 受入数 (H25.4.1現在)	専修医 レジデント 受入数 (H25.4.1現在)	
	基幹型	協力型			
道央せき					3
道 央		○		1	4
釧 路	○	○	2	1	12
青 森	○	○	2		4
東 北	○	○	8	9	8
秋 田		○			
福 島	○	○			5
鹿 島		○			3
千 葉	○	○	7	4	8
東 京	○	○	4	2	15
関 東	○		12	2	16
横 浜	○	○	15	11	18
燕		○			6
新 潟	○	○			7
富 山		○			3
浜 松	○	○			3
中 部	○	○	12	10	12
旭	○	○	2	4	4
大 阪	○	○	10	22	19
関 西	○	○	7	10	19
神 戸	○	○	6	6	6
和 歌 山	○	○			7
山 陰	○	○	4	1	4
岡 山	○	○	5	3	9
中 国	○	○	5		5
山 口	○	○	3	2	9
香 川	○	○			11
愛 媛	○	○			2
九 州	○	○	6	6	9
門 司 セン		○			2
長 崎	○	○			4
熊 本	○	○	3		6
合 計	25	30	113	94	243

各労災病院の特色と政策的役割

病 院 名 ()内は開設年月	常 勤 医師数 H25.4. 1現在	労災疾病等13分野医療 研究における位置付け		◎ア ス ベ ス ト 疾 患 ブ ロ ッ ク セ ン タ ー	ア ス ベ ス ト 疾 患 セ ン タ ー	◎電話相談 労務者の心	地域保健医療計画等における位置付け								地 域 医 療 支 援 病 院	が ん 診 療 連 携 拠 点 病 院	災 害 が ん 診 療 連 携 拠 点 病 院	災 害 拠 点 病 院	概ね10km以内の主な公的病 院 (労災病院からの直線距離) ※太字は厚労省所管の国立病 院等	労災病院における特色
		セ ン タ ー 病 院	協 力 病 院				4 疾 病			5 事 業										
							が ん	脳 卒 中	急性 心 筋 梗 塞	糖 尿 病	救 急	災 害	へ き 損	周 産 期						
北海道中央労災病院 (S30. 8) 312	37	○(じん肺)	○(振動障害) ○(アスベスト)	◎					○	○	○							○岩見沢市立総合病院(2.8km) ○市立三笠総合病院(7.6km)	・じん肺症の診断、治療、リハビリテーションの専門病院として北海道随一の実績 ・北海道における職業性呼吸器疾患の予防、治療及び研究の拠点病院として道内全域から患者受入れ ・「粉じん等による呼吸器疾患」のセンター病院(労災疾病研究センター)であり、アスベスト疾患ブロックセンターも設置し、地域医療機関と連携しながら、診断、治療、症例収集を実施 ・南空知地域において岩見沢市立総合病院とともに救急の二本柱 ・市内の脳外科専門病院との間で救急患者の相互受入体制を構築	
北海道中央労災病院 せき損センター (S30. 8) 157	15		○(せき損)							○								○市立美瑛病院(1.1km)	・腎臓損傷、頸髄損傷、外傷性骨折等の整形外科を主体とする外科系病院 ・北海道全域における唯一のせき損センターとして最先端のせき損医療を提供、専門センターとして「腰痛・せき損センター」を設置 ・広域災害など緊急時の患者搬送用として保有しているヘリポートを利用し、平成24年度で50人を超えるせき損患者を受け ・地域医療計画においては、糖尿病とその他の生活習慣病全般を中心として医療を提供	
釧路労災病院 (S35. 1) 500	56		○(振動障害)	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		○市立釧路総合病院(3.6km) ※地域がん診療連携拠点病院 ○釧路赤十字病院(0.6km)	・勤労者心の電話相談開設により過労自殺など自殺予防対策を推進するとともに、女性外来を設置して勤労女性の健康管理を ・振動障害についての研究や高度専門医療の提供にも実績 ・充実したリハビリテーション施設をもとに、職場復帰のためのリハビリテーション医療において地域に貢献 ・道東地区における外科、脳神経外科、整形外科領域の中核病院 ・25次救急の実施、24時間応需体制の確立、ドクターヘリへの参加協力等により救急医療・災害医療の面で地域医療に貢献	
青森労災病院 (S37. 2) 474	35		○(職場復帰リハ)					○	○	○	○		○	○				○国立病院機構八戸病院(4.5km) ○八戸市立病院(3.7km) ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○八戸赤十字病院(8.3km)	・原子力関連施設が立地したところから、放射能被曝担当病院に指定され、原子力関連施設(日本原燃)との患者受入締結施設であり、共同で被ばくを想定した患者受入れの訓練を定期的 ・地域医療計画において八戸地域を中心とした二次救急医療等において「地域医療ネットワークの中心」として医療を提供しているとの評価 ・青森がん診療連携協議会に参加し、がん診療連携拠点病院と連携	
東北労災病院 (S29. 1) 548	88	○(脳・心疾患)	○(物理的因子) ○(アスベスト)	◎	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○仙台社会保険病院(0.8km) ○東北大学病院(1.8km) ※地域がん診療連携拠点病院 ○仙台市立病院(3.8km) ○国立病院機構仙台医療センター(3.9km) ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○東北厚生年金病院(8.2km) ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○財団法人仙台市医療センター 仙台オーブン病院(3.8km) ※地域医療支援病院 ○仙台赤十字病院(6.1km)	・「業務の過重負荷による脳・心臓疾患(過労死)」のセンター病院(労災疾病研究センター) ・「高・低温、気圧、放射線等の物理的因子による疾患」分野の研究における主任研究施設 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置し、また災害拠点病院として貢献 ・アスベスト疾患ブロックセンターとして、東北地区のアスベスト診断、治療等に貢献 ・職業性皮膚疾患研究の中核施設として、その研究成果を全国に普及 ・東日本で数少ないバイオクリーンルーム2室を完備した手術室を使用して年間250件を超える人工関節置換術を施行	
秋田労災病院 (S29. 1) 250	15		○(職場復帰リハ)					○	○	○	○		○					○大館市立総合病院(9.5km) ※地域がん診療連携拠点病院	・リハビリテーション医療について県内随一の専門病院であり、運動浴・温泉療法を実施 ・「せき損・腰挫センター」設置し、地域のせき損患者を受入 ・大館・鹿角医療圏で唯一の障害者病棟保有病院、施設等で対応困難な肢体不自由障害者を受入 ・麻痺患者に対する機能的電気刺激の治療も実施し、地域から頼られる存在	
福島労災病院 (S30. 5) 406	32		○(職場復帰リハ)		○		○		○		○	○			○	○		○いわき市立総合磐城共立病院(0.4km) ※地域医療支援病院	・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置 ・放射線量測定のための機器を整備し、放射能被曝担当病院で東京電力福島第一並びに第二原子力発電所と「放射線物質による汚染を伴う傷病者の診療に関する覚書」を締結し、定期的に開催される関係機関、地域住民が参加する原子力防災訓練に参加し、医療処置訓練などを実施 ・地域医療計画において「第二次救急医療機関」の指定を受けいわき市の精密化に参加、福島県救急医療情報システムに協力 ・鹿島臨海工業地帯及び利根川流域における産業医療のセンター病院	
鹿島労災病院 (S56. 5) 300	10		○(メンタル)	○			○				○	○				○		○神栖済生会病院(11.5km)	・メンタルヘルス・和漢診療センターを設置し、ストレス性疾患、勤労女性特有の疾患、痛み、しびれを伴う諸疾患に対応 ・昭和57年の鹿島臨海工業地帯で発生した重油脱硫装置の爆発事故への対応により地域からの信頼を高め、平成11年の東海北陸界事故に際しては、健診についての医師団派遣など緊急医療にも実績を残し、災害拠点病院として指定 ・当地域は診療所が5カ所、療養型の病院が1カ所あるのみ、急性期を担える唯一の医療機関	
千葉労災病院 (S40. 2) 400	92		○(せき損) ○(アスベスト) ○(両立支援) (がん)	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○帝京大学ちば総合医療センター	・せき髄損傷、リハビリテーション、じん肺等の研究や治療に実績 ・アスベスト関連疾患に対応しており、検診のみでなく、医療従事者に対する研修や診断(読影)、治療に関する指導を行い、他の地域の医療機関からの診療依頼も受託 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置、地域医療連携バス作成の中心病院 ・災害医療協力病院として災害拠点病院との連携の下にある	
東京労災病院 (S24. 5) 400	79	○(両立支援) (がん)	○(アスベスト)	○	○		○		○						○			○財産法人東京都保健医療公社荏原病院(5.8km) ※地域医療支援病院 ○大森赤十字病院(3.1km) ○社会保険蒲田総合病院(2.5km)	・「職場復帰・治療と職業の両立支援(がん)」のセンター病院(労災疾病研究センター) ・産業中毒分野における研究分担施設として、スーパークリーンルームを使用した診療・治療を実施 ・広域災害時の緊急時患者受け入れ態勢を整備するとともに、羽田空港への災害時支援でも貢献 ・東京都脳卒中急性期医療・東京都二次救急医療を担う医療機関の指定	

病 院 名 () 内は開設年月	常 勤 医師数 H25.4. 1現在	労災疾病等13分野医学 研究における位置付け		◎ア スベ スト ブ ロ ッ ク セ ン タ ー	◎ア ス ベ ス ト 疾 患 の 電 話 相 談	地域保健医療計画等における位置付け										地 域 医 療 支 援 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	地 域 医 療 支 援 病 院	概ね10km以内の主な公的病 院 (労災病院からの直線距離) ※太字は厚労省所管の国立病 院等	災 害 拠 点 病 院	労災病院における特色
		センター 病 院	協力 病院			がん	脳 卒 中	急 性 心 筋 梗 塞	糖 尿 病	救 急 患 者	火 災 傷 害	周 産 期	小 児	小 児	小 児										
関東労災病院 (S32. 6) 610	113	○(筋・骨格系)	○(働く女性) ○(両立支援) (がん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「身体への過度の負担による筋・骨格系疾患」のセンター病院(労災疾病研究センター) 「勤労者医療の専門センターとして「働く女性メディカルセンター」を設置。「女性専門外来」と合わせて働く女性医療の草分け的存在 - 関東地区有数のリハビリテーション専門病院で職場復帰のためのリハビリに実績 - 災害拠点病院として貢献しており、新潟県中越沖地震や東日本大震災に際しては、被災地に医療救護班を派遣するなどの緊急支援を実施
横浜労災病院 (H3. 6) 650	133	○(メンタル)	○(筋・骨格系) ○(両立支援) (がん)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	「勤労者のメンタルヘルス」のセンター病院(労災疾病研究センター)であり、充実した心療内科を擁し、勤労者心の電話相談、メール相談を24時間365日実施 - じん肺についても実績を有し、アスベスト疾患ブロックセンターを設置し、併せて我が国のアスベスト疾患の診断状況を調 - 横浜市が整備する地域中核病院(横浜市内を7地域に区分し、各区分ごとに中核病院を位置付け)の中の一つとして北東部地域中核病院として位置付け - 勤労者医療、癌対策、脳卒中急性期医療、心血管系疾患(心筋梗塞等)、糖尿病(生活習慣病)対策、救急医療、小児医療、周産期医療、老年病対策を中心に整備し地域医療を提供 - 地域がん診療連携拠点病院として、ガンマナイフ及びリニアック(放射線治療機器)を整備
燕労災病院 (S54. 5) 300	26	○(職業性外傷)				○	○	○	○	○	○					○									- プレス機等による手指外傷などを受け入れる地域の救急センター的病院で、手指などの接合については日本有数の実績を有し、所属医師が行った「手指切断及び不全切断における重症度及び損傷形態の機能回復ならびに職場復帰に対する影響」に関する研究は、世界的に権威のあるアメリカの手の外科学会で高い評価を得ており、「四肢切断、骨折等の職業性外傷」のセンター病院(労災疾病研究センター) - 地域のニーズの高い救急医療、がん、手の外科、心疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、脳疾患、生活習慣病、人工透析、リハビリテーション治療をはじめ、健康診断、アスベスト検診、人間ドック、健康管理指導、過労死予防指導などに関して良質の医療を提供 - 地域医療計画の中で透析医療提供体制の充実を求められている中、県央地域の透析医療で中心的役割を果たす病院の一つ
新潟労災病院 (S33. 6) 360	41	○(職業性外傷)		○		○	○	○	○	○	○					○	○								- アスベスト関連疾患に対応しており、地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)を設置 - 放射能が被曝担当病院に指定され、東京電力柏崎刈羽原子力発電所と被爆者受入に関する協定を締結し、放射線被ばく時の傷病者の搬入等救急対応の実地訓練を実施 - 上越圏における救急医療の一翼を担うとともに、がん、高血圧、糖尿病などの生活習慣病、脳神経外科、整形外科疾患への専門的対応とリハビリテーション医療などを大きな特色
富山労災病院 (S33. 5) 300	36	○(じん肺) ○(アスベスト)		○	○	○	○	○	○	○	○					○									「粉じん作業労働者などの診断・治療のため、「呼吸器病センター」を設置、地域における職業性呼吸器疾患治療の中核的病院の役割を担っている。 - アスベスト関連疾患に対応しており、地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器)及びPET(陽電子放射断層撮影装置)等の高度先進医療機器を設置 - 新富山県医療計画において「新川医療圏」のがん診療、救急医療、糖尿病の急性増悪等の専門的治療を担う病院としての位置付け
浜松労災病院 (S42. 4) 312	45	○(アスベスト)		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○								- 職業と疾病の関連性の知見集積のため、医師を中心に毎月地域事業場訪問を実施するなど充実した地域の勤労者医療支援に - じん肺についても高度専門的医療を提供し、アスベスト関連疾患にも対応 - 医療連携公開講座の開催等、産業保健領域において地域の医療者を支援する役割を担うなど、「労災医療」に関する拠点病院と位置付け - 県と災害時の医療救護活動に関する協定を締結するなど災害医療への取組み - 急性心筋梗塞などの心疾患について循環器と心臓血管外科の連携により地域医療に貢献、特に隣接する中東遠地区には心臓血管外科を有している医療機関がないため、中東遠地区の診療所、病院等から紹介患者を多数受入
中部労災病院 (S30. 5) 621	115	○(せき損) ○(両立支援) (糖尿病) ○(働く女性)	○(メンタル) ○(職場復帰/ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○								- 所属医師が行った「頸椎症、頸椎損傷での新しい運動評価法、10秒足踏みテスト」に関する研究は、ヨーロッパ頸椎学会において高い評価を得ており、「せき損損傷」のセンター病院(労災疾病研究センター) 「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院(労災疾病研究センター) 「職場復帰・治療と職業の両立支援(糖尿病)」のセンター病院(労災疾病研究センター) - 地域医療において、災害拠点病院に指定されているとともに、名古屋地域防災計画において、特に重症患者の治療・収容を行い災害医療の拠点となる災害医療拠点病院14施設の中 - 東海地域随一のリハビリテーション施設を誇り、職場復帰のリハビリに実績
旭労災病院 (S35. 6) 250	40	○(じん肺) ○(アスベスト)		◎		○	○	○	○	○	○					○	○								「粉じん等による呼吸器疾患」・「アスベスト関連疾患」について、研究、高度専門的医療の提供、指導医講習の実施など積極的に活動 - じん肺に関しては中部地区のセンターの病院であり、アスベスト疾患ブロックセンターを設置 - 地域保健医療計画において、がん対策及び循環器医療対策の急性期治療病院として位置付け - 小児科について尾張旭市の要請を受け発達支援外来を設置 - 平成25年4月から二次救急病院に指定予定
大阪労災病院 (S37. 3) 678	125	○(感覚障害) ○(職場復帰/ハ)	○(両立支援) (がん)		○	○	○	○	○	○	○					○	○								「聴音、電磁波等による感覚器障害(騒音下での職業性難聴や紫外線・赤外線やレーザー光線等による眼疾患、溶接光等による角膜障害、屈折異常、電気性眼炎、VDT作業による眼精疲労)」のセンター病院(労災疾病研究センター) - 業務による脳・心臓疾患、せき損損傷等の研究や高度専門的医療の提供にも実績 - 地域医療においても、高度医療技術の導入、専門別診療体制の充実による地域の先進医療中核病院であり、地域がん診療連携拠点病院としてリニアック(放射線治療機器)を設置 - 地域支援の観点から、地域の企業との連携を目的とした「大労クラブ」を設立し、地域の勤労者医療に貢献

